克 己 創 造 自他尊重

大成中だより

.06(6428)0029 http://cen-web/school/j09/index.htm

平成22年 11月16日 第51号

【盛大に創立50周年記念式典を挙行】

秋晴れのもと、大成中学校創立50周年記念式典が盛大に挙行されました。白井市長を 始め、150名を超えるご来賓、地域、学校関係者の皆様に列席していただき、大変嬉し く思っております。ありがとうございました。

大成中学校の50年を振り返ってみますと、創立以来、地域や保護者の皆様から、学習 環境の整備や教育活動への支援を、ずっと受け続けてきたことに改めて気づかされました。 私 た ち 教 育 に 携 わ る 者 は 、" 自 分 た ち だ け で 教 育 活 動 を 行 っ て い る の で は な い " こ と を 肝に銘じ、"生徒達のために必要な教育とは何か"を常に自問しながら、これからの教育 活動を進めてまいります。今後とも大成中学校の教育活動に、ご理解、ご支援を賜ります ようよろしくお願い申し上げます。 尼崎市立大成中学校長 橋立













橋立校長

白井市長

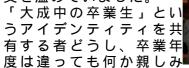
廣瀬さん

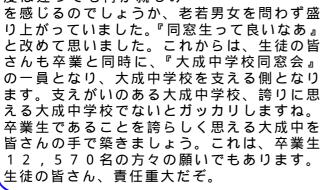
野地岡君

【同窓会が発足しました】

創立50年の記念事業として、同窓会を結 成しました。卒業生の願 大成中学校同窓会発足記念人 いがようやく叶いまし た。初代同窓会長は、下 田平さん(第2回卒業 生)。同窓会発足記念パ

ーティには、160人近 くの卒業生が集まり、旧 交を温めていました。





【祝賀会】

さすが校歌に歌われる近松の里、50周年 の祝賀会に近松門左衛門さん?も登場して、 お祝いをのべて下さいました。終始和やかな 雰囲気の中で、50周年を祝い、それぞれに 思い出を語り、最後は校歌の大合唱で締めく くられた祝賀会。この会でも、卒業生、保護 者、地域の皆さんの、大成中学校に寄せる思 いの強さをひしひしと感じました。『頑張っ てや。いつでも力になるで。』『先生ら、最 近よう頑張ってるな。頼むで。』『昔の大成 中みたいに、生徒が挨拶をしてくれました。 嬉しかったです。』等々。私にビールを注ぎ ながらひとしきり思いを語って下さいまし た。おかげで、酔っぱらった私の顔は、真っ 赤になり、なかなか元に戻りませんでした。





お祝いに駆けつけた近松さん

校歌の大合唱

【校長式辞(一部)】~生徒の皆さんへ~

さて、生徒の皆さん。今日、科学技術の進歩はめざましく、大変便利な世の中になりました。しかし一方 では、長引く不景気に、職を失う人々やワーキングプアと呼ばれる、生活に足る収入を得ることができない 人々、卒業しても働く場所のない若者が増加しています。社会や将来に不安を持ち、心に悩みを抱える若者 も増加しています。こんな時代を生きる君たちには、**「人間としての誇り」**を忘れないでほ しい。子どもやお年寄りなど弱い者への虐待や、家族への暴力、無差別な殺傷事件が多発す る社会は、健全な社会ではありません。「人間としての誇り」を持ち、互いを尊重し、心豊かに暮らせる社会を、築いて欲しいと思います。もう一つは、**「世界に目を向けて生きる人」** になってほしい。今年ノーベル化学賞を受賞した根岸教授は、若者に対し「スポーツでも何 でも、十代のころに自信のある分野を見つけ、世界を舞台にした高い目標を定めて追い続け (オレガノの花) て欲しい。」と語りました。視点を大きく世界に向けて、自分を鍛えて下さい。君たちが、 どのような社会、どこの世界でも立派に通用する人間となることを期待しています。

【花言葉】